

宮城県ものづくりシニア指導者育成事業 実施企画書

平成29年7月

(公財)みやぎ産業振興機構
産業育成支援部 地域連携推進課

1. 目的

東日本大震災の景況や昨今の経済情勢等から、県内中小製造業は経営基盤の強化が必要となっている。

については、中小企業の持つ多様な経営課題の解決のため、高度かつ総合的な企業支援人材の育成を行い、中小企業者の経営高度化等を支援することを目的とする。

そのために必要な「3つの『場』づくり」＝講座の位置付け

(1) 更なる学びの「場」

- ① 基本の学び直し
- ② 自己の弱み克服
- ③ 最先端を理解する

(2) 出会い／繋がり強化の「場」

- ① 「産学官金」との出会い
- ② 修了者のネットワーク

(3) 実践／研修の「場」

- ① ものづくり現場での改善提案
- ② 機構事業での研修
「実践経営塾」
「専門家派遣事業」等々

2-1. カリキュラム構成

コンサルティングスキル（機構が運営）

主な構成要素

支援人材として必要となる心構えやノウハウ、情報収集能力やコーディネート等の各種スキル

経営力向上支援スキル(業務委託)

項目	主な構成要素
経営理念	経営理念、人材育成、リーダーシップ
経営戦略	経営理念と戦略の構築、フレームワーク
新製品開発	中小企業の新製品開発、補助金の活用
マーケティング	プロセス、ニーズ把握、コンセプト
コンプライアンスとガバナンス	法的リスク事例と対策、労務管理
財務と原価管理	財務諸表の仕組み、原価管理、管理会計、投資判断

生産力向上支援スキル（業務委託）

項目	主な構成要素
品質管理と品質保証	QC活動、企業風土づくり
生産管理	基礎知識、リードタイム短縮・在庫削減のポイント
ものづくりインストラクション	生産革新の定義・進め方・技術

現場研修・グループ演習（業務委託）

項目	主な構成要素
現場改善①	ムリ・ムダ・ムラの発見、改善方法
現場改善②	企業（1,2社）で現場改善指導を実践

総合演習（機構が運営）

主な構成要素

仮想会社（2社）に対するコンサルティングを、ロールプレイングにてグループ単位で実施。

※講座の実施にあたっては、受講者の理解度を深めるため、座学の外、グループディスカッションや演習等の多様な形式にて実施することが望ましい。

2-2. カリキュラム時間配分と業務委託の範囲

《前提》

1. 日当たりの講座時間は9:30~17:00（昼休み1時間）での6時間30分を基本とする。
2. 原則平日開催とする。

分野	想定時間	日数換算	委託範囲	開催予定日
コンサルティングスキル	13時間	2日間	(機構が運営)	8月31日 12月22日
経営力向上支援スキル	52時間	8日間	業務委託	9月8日から
生産力向上支援スキル	19時間30分	3日間	業務委託	↓
現場研修・グループ演習	19時間30分	3日間	業務委託	12月8日まで
総合演習	6時間30分	1日間	(機構が運営)	12月15日
合計	110時間30分	17日間		

3. 業務委託

機構事務局

講座運営に関する業務委託

提案依頼
(募集)

講座運営業務提案依頼書の内容を参照

1. 講座概要
2. 提案依頼事項
3. 契約に関する条件
本実施企画書

プロポーザル方式により契約の相手方を選定

選定委員会
による
評価・選定

委託内容

1. 講座運営
2. 機構事務局との調整
 - ① 講師選定
 - ② 現場研修方法（機構が企画・運営する講座と調整）
 - ③ 修了者連絡会議の開催 ほか
3. 講座の開催実績、成果の取りまとめ、報告書の作成等